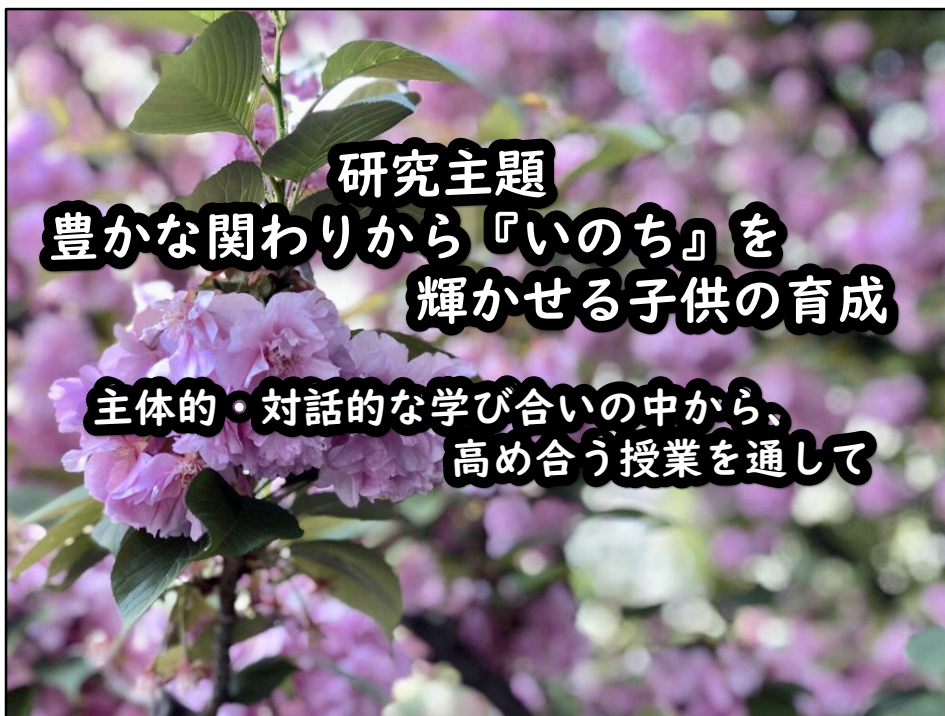




これから令和2・3年度、東京都教育委員会人権尊重教育推進校、台東区立富士小学校の研究発表を行います。



本校では、研究主題を「豊かな関わりから『いのち』を輝かせる子供の育成」、研究副主題を「主体的・対話的な学び合いの中から、高め合う授業を通して」とし、2年間の研究を進めてまいりました。

# 人権教育の目標

- 1 自尊感情や自己肯定感を高め、互いに尊重し、よさを認め合える人間関係を育成する。
- 2 人権課題を正しく理解させるとともに、様々な偏見や差別に気付かせ、それらの解消に向けて行動しようとする態度を育成する。
- 3 学習の基礎基本を確実に定着させ、一人一人の資質や能力を十分に伸長する。

はじめに、人権教育の目標です。

本校の人権教育の目標は3つです。

自尊感情や自己肯定感を高め、互いに尊重し、よさを認め合える人間関係を育成する。

人権課題を正しく理解させるとともに、様々な偏見や差別に気付かせ、それらの解消に向けて行動しようとする態度を育成する。

学習の基礎基本を確実に定着させ、一人一人の資質や能力を十分に伸長する。

# 人権教育を通じて育てたい 資質・能力

## 知識的側面

- 自分や他者の人権についての正しい理解
- 日々の生活や社会における様々な人権課題への理解
- 人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識

## 価値的・態度的側面

- 自他の価値を尊重しようとする意欲や態度
- 多様性に対する開かれた心と肯定的評価

## 技能的側面

- 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション能力
- 他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性
- 複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に達する技能

これらの目標を達成するために、人権教育を通じて育てたい資質・能力を知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面の3点から本校の実態に即して設定しました。



## 目指す児童像

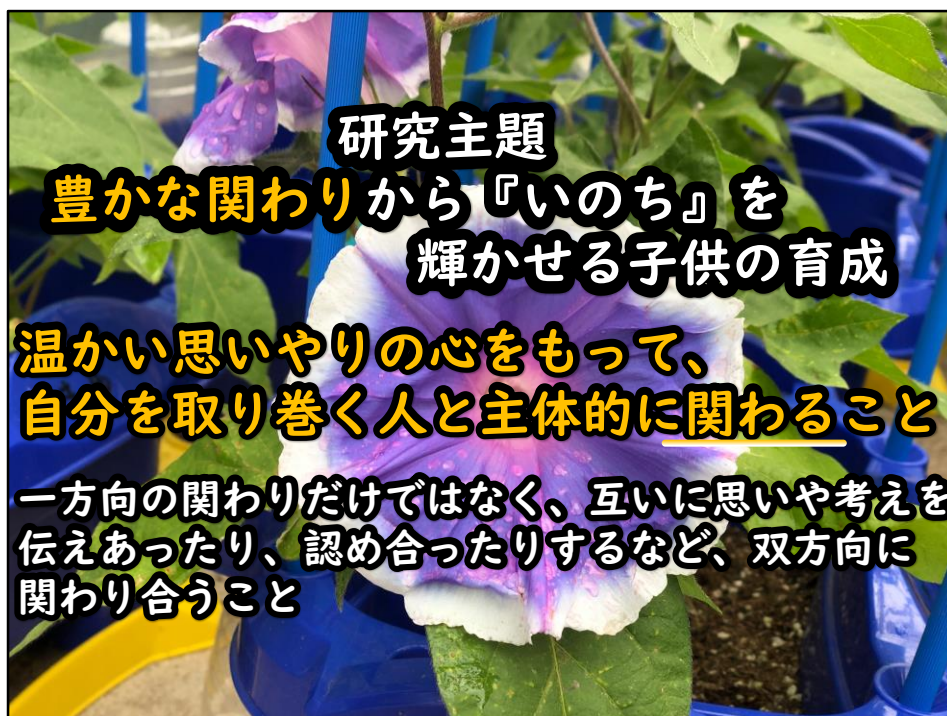
- 1 **いのちの尊さを知り、思いやりや感謝の気持ちを高める子供。**
- 2 **人権課題を正しく理解し、偏見や差別を許さない子供。**
- 3 **自分や他の人の大切さに気付き、互いに協力し、自他ともに高め合おうとする子供。**

以上の人権教育の目標、学校の教育目標、人権教育を通じて育てたい資質・能力を受け、目指す児童像を設定しました。

いのちの尊さを知り、思いやりや感謝の気持ちを高める子供。

人権課題を正しく理解し、偏見や差別を許さない子供。

自分や他の人の大切さに気付き、互いに協力し、自他ともに高め合おうとする子供 です。



これらを受け、研究主題を「豊かな関わりから「いのち」を輝かせる子供の育成」と設定しました。

本校では、「豊かな関わり」を、「温かい思いやりの心をもって、自分を取り巻く人と主体的に関わること」と捉えました。また、この関わりは、「一方向の関わりだけではなく、互いに思いや考えを伝え合ったり、認め合ったりするなど、双方向に関わり合うこと」と、捉えています。

そのことを授業の中で具現化するために、研究副主題を「主体的・対話的な学び合いの中から、高め合う授業を通して」として、研究を深めてきました。

# 研究の視点

## 二つの人権教育カリキュラムを作成

### 視点1

人権課題に対する取組

### 視点2

主体的・対話的な学び合いに関する取組

次に、研究の視点についてです。本校では、2つ人権教育カリキュラムを作成し、研究を進めてきました。

視点1が 人権課題に対する取組

視点2が 主体的・対話的な学び合いに関する取組  
です。

# 研究の視点

## 視点Ⅰ 人権課題に対する取組

平成30年度までの研究  
本校の人権教育カリキュラムの充実が  
成果としてあげられた。

まず、視点1の「人権課題に対する取組」についてです。  
本校では、低学年から中学年、高学年まで、各教科や特別の教科道徳、総合的な学習の時間において系統的に人権課題に対する取組を進めてきました。

# 研究の視点

## 視点Ⅰ

### 人権課題に対する取組

令和元年度からの研究  
身に付けさせたい資質や能力の明確化。

評価の規準について明示、  
評価方法を明確にする。

令和元年度からは、これまでの成果である人権教育カリキュラムを改善して活用するとともに、身に付けさせたい資質や能力を定め、さらに特別の教科道徳、各教科等の評価の規準と評価方法を明確にすることで、授業の改善を図ることとしました。

# 研究の視点

## 視点Ⅰ 人権課題に対する取組

児童の人権に関する知的理解をうながし  
人権感覚を高めることにつながる。

そのようにすることで児童を適切に評価・支援し、児童の人権に関する知的理解を促し、人権感覚を高めることにつながりました。

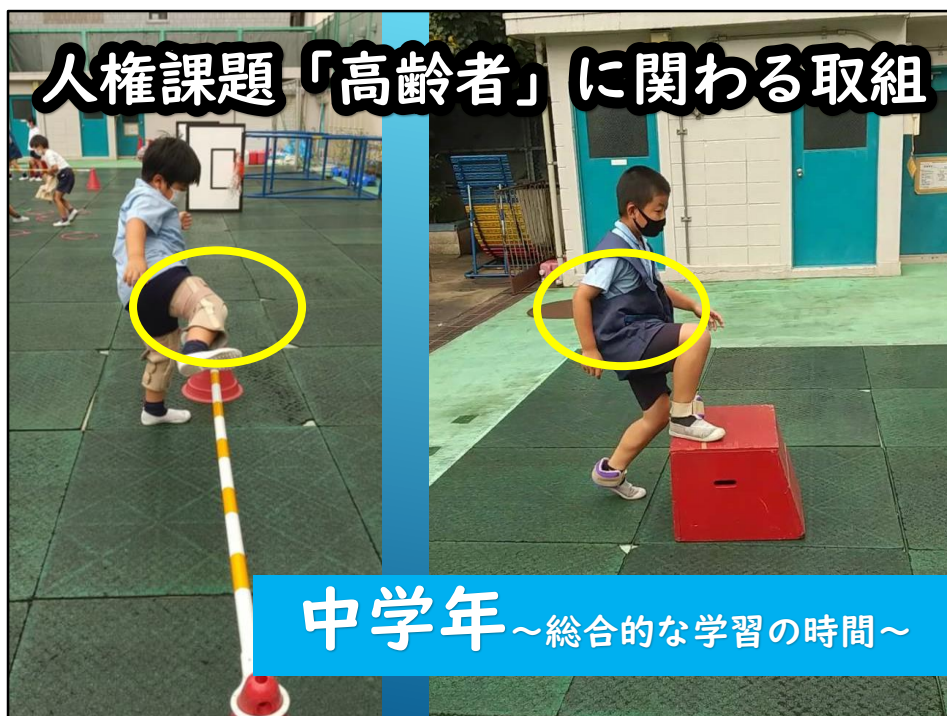




ここからは、写真を見ていただきながら説明をしていきます。  
人権課題「高齢者」では、第1・2・3学年において系統性をもって取り組みました。

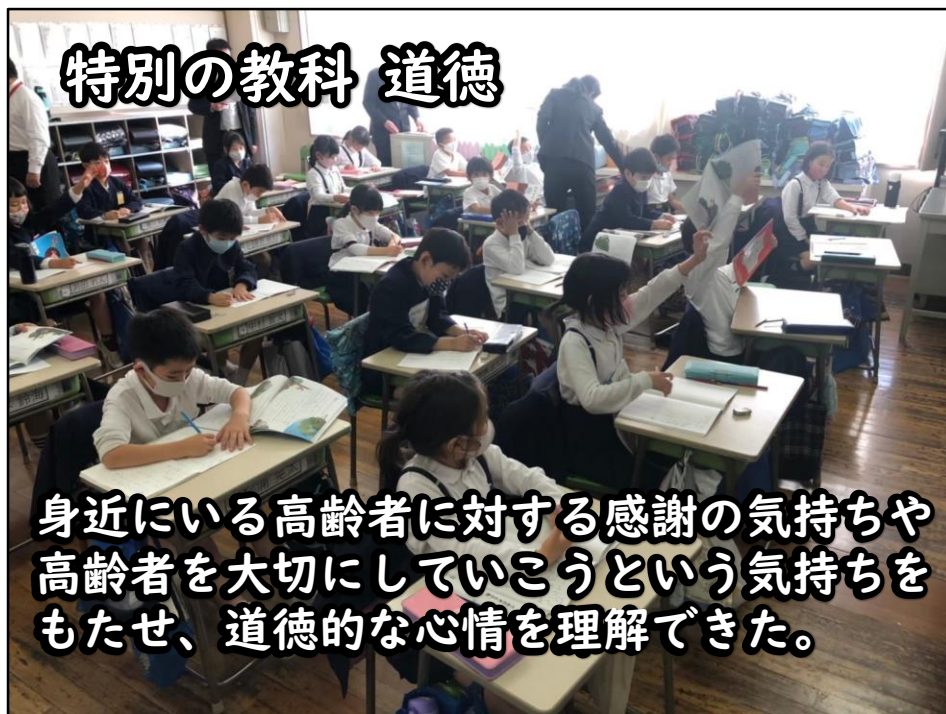


第1・2学年では、生活科の「伝承遊び」で、遊びのこつを教わりました。また、例年であれば、ふれあい給食で祖父母を招待し、交流をするなどの取組も行ってきました。この2年間は残念ながら新型コロナウイルス感染症予防の観点から、実施できておりませんが、児童にとって、高齢者と共に何かを体験するという活動は、とても貴重なものでした。



第3学年の総合的な学習の時間の学習では、高齢者体験を行ったり、地域の高齢者の方の話を聞いたりして、高齢者に対する自分の中の考え方を見つめなおす機会となりました。

これらの活動を通して高齢者の生活の様子について理解を深め、高齢者の温かさや素晴らしさにもふれることができました。

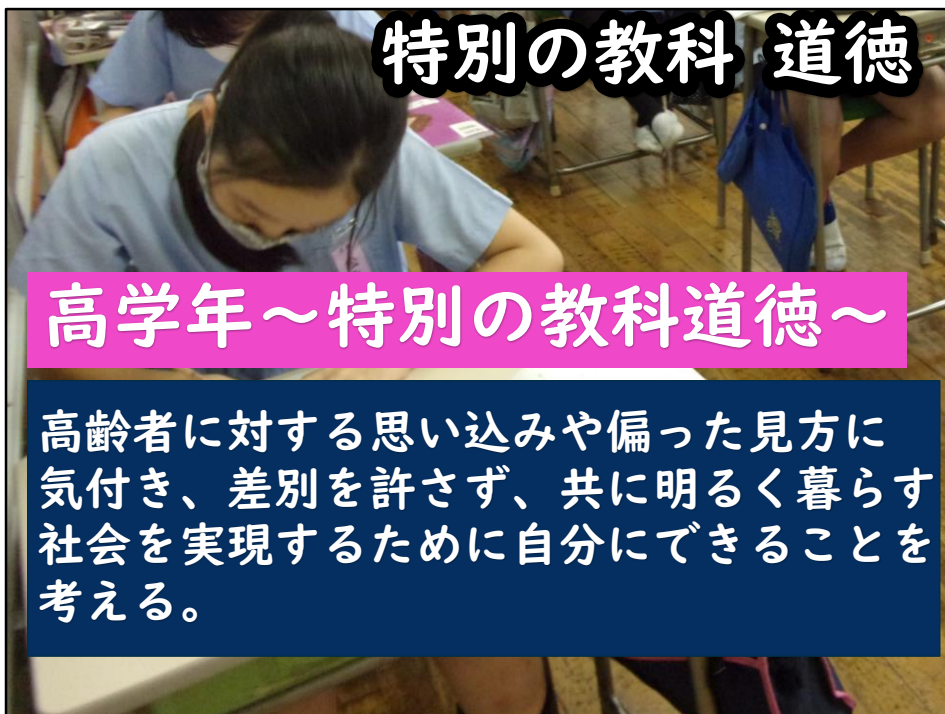


## 特別の教科 道徳

身近にいる高齢者に対する感謝の気持ちや、高齢者を大切にしていこうという気持ちをもたせ、道徳的な心情を理解できた。

さらに、特別の教科 道徳では、身近にいる高齢者に対する感謝の気持ちや、高齢者を大切にしていこうという気持ちを持ち、道徳的な心情を理解することができました。





中学年までの高齢者に関する知的理解と高齢者を大切にしようという心情を基に、高学年の、特別の教科 道徳では、個別的な視点から、人権教育の視点を「人物の心情を考えることを通して、高齢者に対する思い込みや、偏った見方に気付き、差別を許さず、共に明るく暮らしていこうとする態度を養う。」とし、「自分の中にある高齢者に対する思い込みや偏った見方に気付き、差別を許さず、共に明るく暮らす社会を実現していくために自分にできること」を考えました。



また、人権課題「同和問題」については、第2学年の生活科において、どうしたら動物が快適に過ごせるかを考えたり

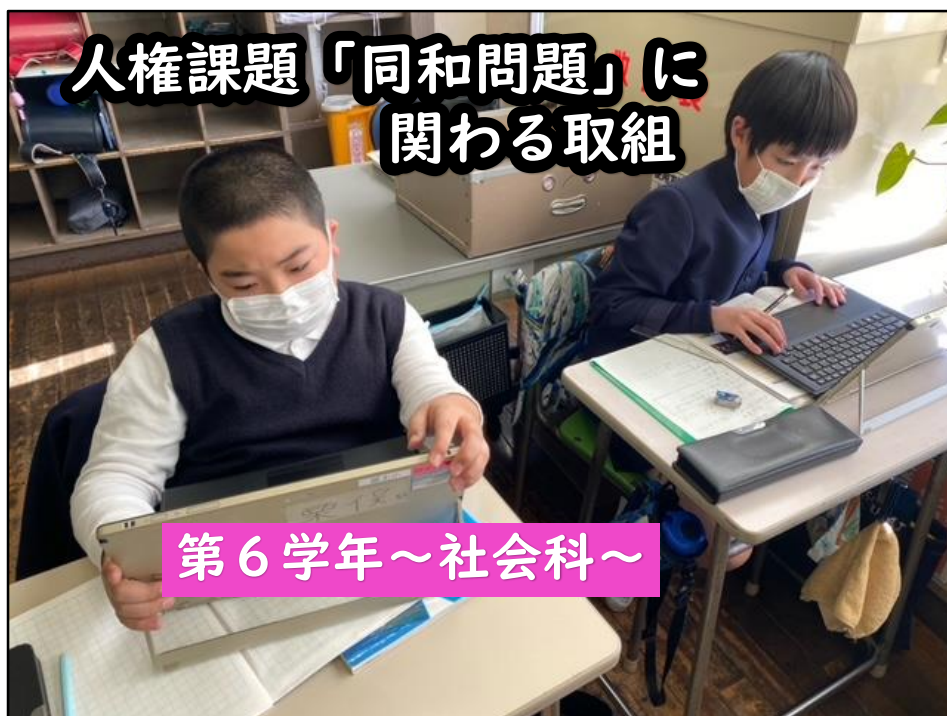




第3学年の社会科において靴工場を見学したり



皮革細工を作成したり、実際の皮革産業に使われる動物の皮を観察したりすることで、皮革産業に慣れ親しみ、自分たちの住む町のよさや産業の充実について学習しました。



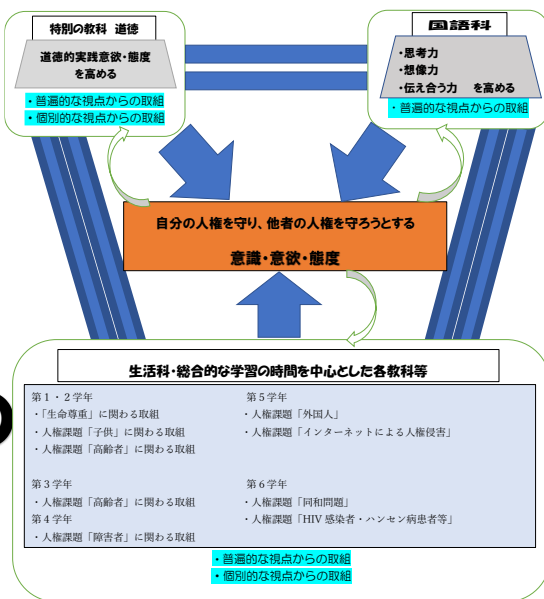
その第2学年、第3学年の学習を踏まえ、第6学年では、社会科で個別的な視点からの取組として、日本国憲法の基本的人権の尊重について学習しました。また、江戸の文化と学問の発展に関わる学習において、人権教育の視点を「差別を受けていた人々の腑分けなどの優れた技術が、医学の発達など、江戸時代の社会の発展を支えたことに気付かせる学習を通して、人権課題『同和問題』に関する歴史について理解させる。」とし、実際の腑分け作業を「厳しい差別」を受けていた人々が、当時の医師以上の知識・技能をもって行っていたことについて、学習しました。

# 人権教育カリキュラム①

富士小学校 人権教育カリキュラム【人権課題に対する取組】

**各学年で  
年間指導  
計画を作成**

**人権教育  
カリキュラムの  
有効活用**



リーフレットの「富士小学校 人権教育カリキュラム 人権課題に対する取組」を御覧下さい。  
 このようにして、様々な人権課題に取り組めるよう、各学年において年間指導計画を作成し、人権教育カリキュラムを有効活用しています。



## ICT機器の効果的な活用

低学年～タブレット端末を活用した調べ学習～

しかし、令和2年度から今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、予定していた交流や行事、体験的な学習を中止せざるを得ないこともありました。それでも、感染状況を鑑みながら、人数を少なくしての実施やクラス単位での実施、ICT機器を活用して実施するなど、取組の仕方を工夫し、学びを途絶えさせない様にしました。





しかし、令和2年度から今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、予定していた交流や行事、体験的な学習を中止せざるを得ないこともありました。それでも、感染状況を鑑みながら、人数を少なくしての実施やクラス単位での実施、ICT機器を活用して実施するなど、取組の仕方を工夫し、学びを途絶えさせない様にしました。②



# 研究の視点

## 視点2

### 主体的・対話的な学び合いに関する取組

意図的・計画的な学び合いの機会を設定する。



子供主体の学習活動になるようにした。

次に、視点2の「主体的・対話的な学び合いに関する取組」についてです。

富士小学校 人権教育カリキュラム【主体的・対話的な学び合いに関する取組】			
人権教育カリキュラム②	低学年	中学年	高学年
	<p><b>国語科を 中心に</b></p> <p><b>教科・学年の 系統性を意識</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの考えをもって進んで話す。</li> <li>話聴からそれないように話し合う。</li> <li>友達の話聞いて、感想をもちたり質問をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとその理由を話す。</li> <li>賛成や反対の意思表示をし、伝えたいことに理由を付けて話し合う。</li> <li>自分と友達の違いや共通点に気づき、考えを深め合う。</li> </ul>
<p>【話し合いの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1対1の対話</li> <li>2～4人のグループでの話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～4人のグループでの話し合い</li> <li>司会を立てての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの話し合い</li> <li>ディスカッション</li> <li>ディベート</li> </ul>	
人権教育を通して育てたい資質・能力	<p>自分や他者の人権についての正しい理解【知識的側面】</p> <p>日々の生活や社会における様々な人権課題への理解【知識的側面】</p> <p>人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識【知識的側面】</p>		
	<p>自己の価値を尊重しようとする意欲や態度【価値的・態度的側面】</p> <p>多様性に対する開かれた心と肯定的評価【価値的・態度的側面】</p>		
	<p>能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション能力【技能的側面】</p>		
	<p>他者の痛みや感情を共感的に受けとめるための想像力や感受性【技能的側面】</p> <p>複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で多面的とした結論に達する技能【技能的側面】</p>		
<p>話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことをしっかりと聞きとる集中して聞く。</p> <p>話の内容を捉えて感想をもつ。</p> <p>互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。</p>	<p>必要なことを記録したり質問したりしながら聞く。</p> <p>話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。</p> <p>目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合う。</p> <p>互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめ</p>	<p>話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える。</p> <p>話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>互いの立場や感情を明確にしながら計画的に話し合う。</p> <p>考えを広げたりまとめたりする。</p>	
<p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介・説明・報告</li> <li>伝えたいことを話す。</li> <li>声を出して聴かせる。</li> <li>感想を述べる。</li> <li>尋ねたり答へたりする。</li> <li>少人数で話し合う。</li> </ul>	<p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明・報告</li> <li>調べたことを話す。</li> <li>質問する。</li> <li>集めた情報を発表する。</li> <li>互いの考えを伝える。</li> <li>グループや学級全体で話し合う。</li> </ul>	<p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見・提案</li> <li>自分の考えを話す。</li> <li>インタビューをする。</li> <li>集めた情報を発表する。</li> <li>それぞれの立場から考えを伝える。</li> <li>グループや学級全体で話し合う。</li> </ul>	
	<p>国語科を通して身に付けさせたい技能等</p> <p>思考力・想像力・伝え合う力</p>		

研究主題に迫るためには、児童の主体的・対話的な学び合いが重要となると考えました。それらの力も、各教科や教科を横断して身に付けていかなければならない、資質・能力と思考、人権教育カリキュラムとして作成しました。リーフレットの「富士小学校 人権教育カリキュラム 人権課題に対する取組」を御覧下さい。

学び合い活動に関しては、どの教科の学習でも取り入れることが大前提ではありますが、校内では特に国語科を中心として、教科や学年の系統性を意識して研究授業を進めました。



しかし、今までは、児童同士の話し合い活動によって達成できていた学び合い活動も、新型コロナウイルス感染症による、話し合い活動の制限などにより、方法を見直す必要がありました。



全体討議の場では、一人一人の意思表示が分かるよう、ネームプレートを活用したり、タブレット端末のポジショニング機能を活用したりしました。子供同士が膝を突き合わせて話し合い活動をするのができない分、より一層教師の役割の重要性を感じ、授業での発問計画を何度も練ったり、一人一人の考えの足跡が分かるようなノート指導・ワークシート作成をしたりしました。



全体討議の場では、一人一人の意思表示が分かるよう、ネームプレートを活用したり、タブレット端末のポジショニング機能を活用したりしました。子供同士が膝を突き合わせて話し合い活動をする事ができない分、より一層教師の役割の重要性を感じ、授業での発問計画を何度も練ったり、一人一人の考えの足跡が分かるようなノート指導・ワークシート作成をしたりしました。

②





**ノート指導の工夫**

全体討議の場では、一人一人の意思表示が分かるよう、ネームプレートを活用したり、タブレット端末のポジショニング機能を活用したりしました。子供同士が膝を突き合わせて話し合い活動をする事ができない分、より一層教師の役割の重要性を感じ、授業での発問計画を何度も練ったり、一人一人の考えの足跡が分かるようなノート指導・ワークシート作成をしたりしました。

③





続いて全校での取組です。

富士小学校では、毎年1回、人権集会を開催しています。

ゲストティーチャーを招いて学習をしています。前回はパラテコンドー日本代表選手に来校していただきました。

話を聞くだけでなく、集会前には各クラス事前に選手や競技のことについて学習をしておき、人権集会が人権意識の向上により学びが深いものになるようにしています。



他にも、助産師さんを招いての命の授業、日本の文化・伝統を学ぶ、茶道教室なども行っています。令和3年度は、オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、フラワーレーンプロジェクトにも参加しました。様々な体験活動に取り組ませることで、生命尊重や伝統文化の尊重、国際理解についての学びを深めることができました。



そして、先ほどのアトラクションでも演奏を披露いたしました。富士小学校には約70名が所属する吹奏楽部があります。全国大会などの大きな大会に毎年出場し、東京を代表する活躍をしています。令和3年度は、マーチングバンド協会関東大会金賞・全国大会グッドパフォーマンス賞を受賞しました。「音楽を通して心を磨く」を合い言葉に、努力する心、思いやる心、感謝する心を意識し、音楽を通して心を磨いています。



次に教職員の取組についてです。

私たち富士小学校の教職員は年度当初に人権教育プログラムの読み合わせの研修会をしています。

また、夏季長期休暇などを活用して、教職員の人権研修を行っています。今までに、

「東京都人権プラザ」「お肉の情報館」「国立ハンセン病資料館」などを訪れ教職員の人権意識を高めました。





さらに、授業力向上のために、校内での研修も充実しています。校内での研究授業以外にも、自主的に実技研修会を開いたり、タブレット端末を活用した学習指導の研修会を開いたりしています。毎学期の管理職の授業観察に合わせて全学級、指導案を作成し授業を公開し合い、自身の授業力向上に努めています。

# 今年度の校内研究

第1学年から第4学年は国語科

第5学年と第6学年は特別の教科 道徳

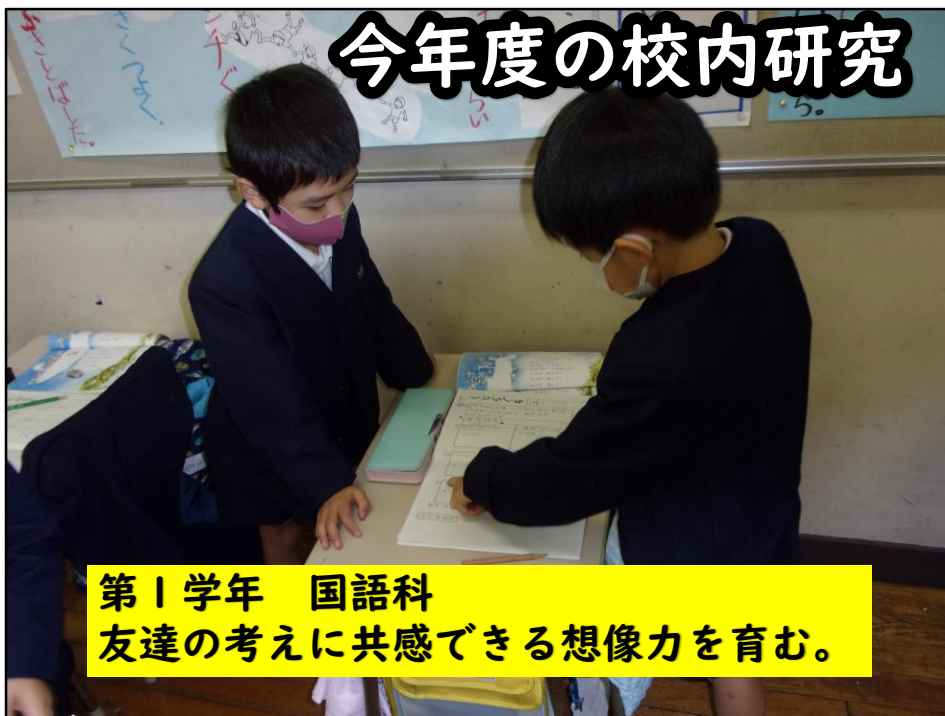
次に本年度の校内研究、授業実践の報告です。

まず、校内研究についてです。

本年度の校内研究では

第1学年から第4学年は国語科で

第5学年と第6学年は特別の教科 道徳で研究授業を行いました。



第1学年では、「くじらぐも」を教材に、一つの場面から様々な想像を膨らませ、自分の考えをもち、友達の考えに共感できる想像力を育むことを目標としました。授業を重ねるごとに、友達が想像したことに共感する姿が見られるようになってきました。





第2学年では、「お手紙」を教材に、がまくんの心情に寄り添うかえるくんの気持ちを本文や挿絵を根拠に想像し、お互いの感じ方の似ているところや違いについて伝え合う力を育むことを目標としました。友達の意見を意識して、自分の意見と比べようとする姿勢が育ってきました。

# 今年度の校内研究



第3学年では、「まいごのかぎ」を教材に、登場人物の気持ちを言語化して発表する活動を通して、他人の気持ちやその変化を感じる想像力を育むことを目標としました。  
わずかな言葉の使い方の違いから、気持ちやその変化を感じ取れるようになってきました。



第4学年では、「世界に誇る和紙」「百科事典での調べ方」「伝統工芸のよさを伝えよう」を教材に、教材文を要約したり表現したりする学習を通して、伝え合う力を育むことを目標としました。友達の要約の特徴やよさを理解し、「伝統工芸のよさを伝えるリーフレット」作りに活かすことができました。



第5学年は、「ブランコ乗りとピエロ」を教材に、自分の考えや経験等を交流する活動を通して、多様な考え方や価値観を尊重する態度を養うことを目標としました。

ノートを活用することで、自分考えや意見を明確にし、友達の意見と比べたり共感したりすることができました。



第6学年は、「ペルーは泣いている」を教材に、国際理解について考え、多様性に対する開かれた心や多様な価値観を尊重する態度を養うことを目標としました。

ネームプレートを活用し、自分の考えや立場を明らかにした上で話し合う活動を通して、多様な考え方や価値観があることに気づき、国際親善のために自身ができることは何かについて、考えることができました。



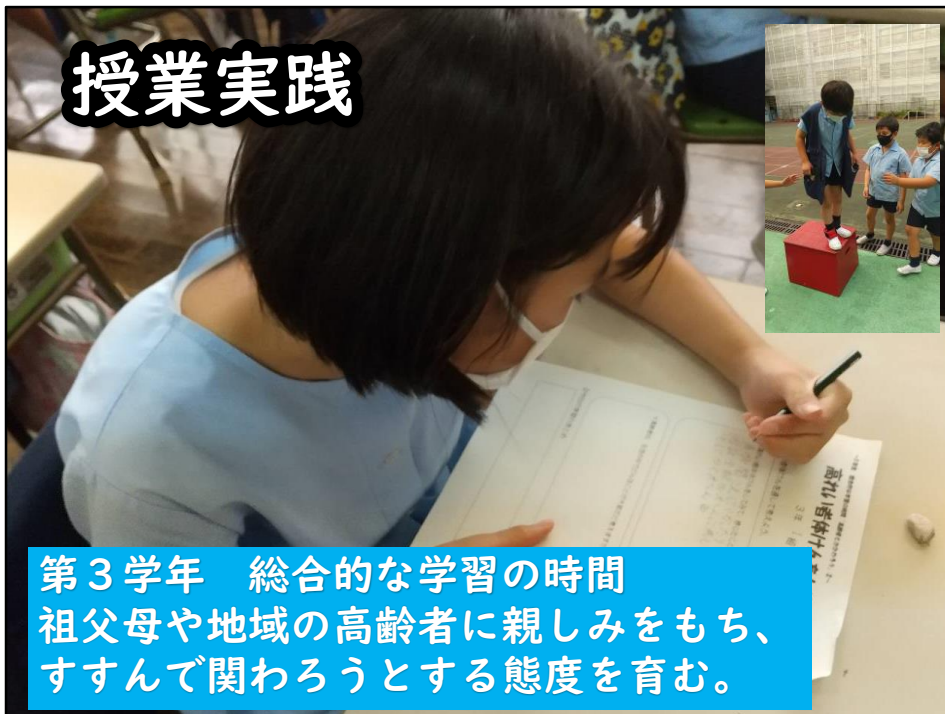


続いて、授業実践についてです。

第2学年では、特別の教科 道徳で「おへそのあな」を教材に生命の尊さについての実践を行いました。

妊娠や出産の経験を教師や保護者から聞いたり、保護者からの手紙を読んだりすることを通して、自分が愛されていることを知り、自他の命を大切にしようとする態度が養われました。





**第3学年 総合的な学習の時間  
祖父母や地域の高齢者に親しみをもち、  
すすんで関わろうとする態度を育む。**

第3学年では、総合的な学習の時間で、単元「共に生きる～お年寄りとかかわろう～」を設定し、人権課題「高齢者」に関わる取組を行いました。人権教育の視点を「高齢者との交流を通して、高齢者の方と主体的・協同的に関わろうとする態度を育む。」とし、高齢者体験をしたり、地域の高齢者の方の話を聞いたりして、学んだことをふり返り、自分たちにはどのようなことができるかを考えました。

体験的な学習や実際の交流を通して、児童からは、祖父母や地域の高齢者に親しみをもち、すすんで関わろうとする態度が養われました。

## 授業実践



**第6学年 総合的な学習の時間  
情報を取捨選択し、正しい知識を得て偏見  
や差別を無くしていこうとする態度を育む。**

第6学年では、総合的な学習の時間で、単元「偏見・差別について考えよう」を設定し、人権課題「HIV感染者・ハンセン病患者等」について学びました。

人権教育の視点を、「ハンセン病について正しく理解し、新聞にまとめる活動を通して、偏見や差別を無くし、思いやりをもって、積極的に社会に参画しようとする態度を育む」とし、

映像教材やインターネットの情報を活用し、情報を取捨選択しながら、自分の考えを新聞等にまとめることを通して、正しい知識を得て偏見や差別を無くしていこうとする態度が養われました。

以上のような、研究授業・授業実践を通して、人権課題に対する取組を行ってきました。



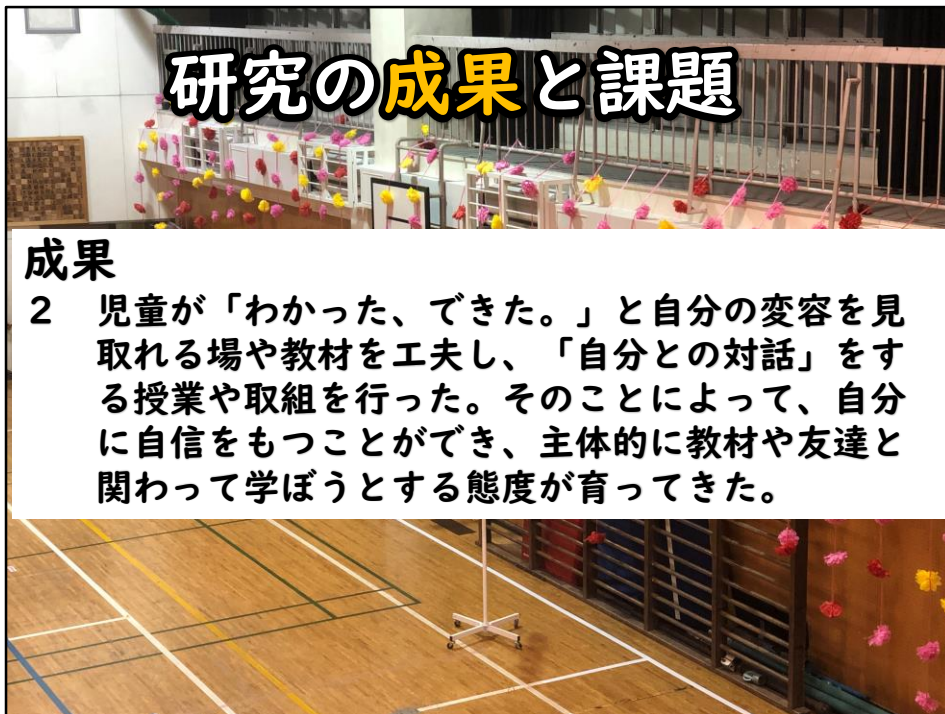
最後に、「研究の成果と課題」です。



研究の成果です。

・人権教育カリキュラムを活用した授業を行い、「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を明確にした授業を継続して行うことができました。





・児童が「わかった、できた。」と自分の変容を見取れる場や教材を工夫し、「自分との対話」をする授業や取組を行いました。そのことによって、自分に自信をもつことができ、主体的に教材や友達と関わって学ぼうとする態度が育ってきました。



## 研究の成果と課題

### 成果

- 3 児童アンケートでは、「友達の立場や気持ちを考えている」「友達の良さに気付くことができる」という項目で肯定的回答が高い。周囲の友達を大切にしようとする人権意識は育ってきていることがうかがえ、授業の中でも「自他の価値を尊重しようとする態度」や「多様性に対する開かれた心」が見られるようになった。

・児童アンケートでは、「友達の立場や気持ちを考えている」「友達の良さに気付くことができる」という項目で肯定的回答が高くなりました。周囲の友達を大切にしようとする人権意識は育ってきていることがうかがえ、授業の中でも「自他の価値を尊重しようとする態度」や「多様性に対する開かれた心」が見られるようになってきました。



最後に、今後の研究の課題です。

・児童に正しい人権感覚を身に付けさせるため、今後も教科等の目標と人権教育の視点とをより関連付け、資質・能力育成のための授業改善に取り組んでいきます。

**御清聴ありがとうございました。**



以上をもちまして、本校の人権教育についての研究発表とさせていただきます。  
御清聴ありがとうございました。